

「今月の1枚」



ユキモチソウ（サトイモ科）

*Arisaema sikokianum* Franch. et Savat.

山地でみられるテンナンショウ属の多年生草本植物。春4，5月頃に花がみられる（写真）。和名は雪餅草と書き、付属体の先端が球状で色が雪のように白く、柔らかなつきたての餅のように見えることからついたとされている。本州近畿地方の一部および四国に固有の種である。

高知県では絶滅危惧2類(VU)に分類、愛媛県では絶滅危惧2類(VU)に分類。

（写真，文：奥田史郎 高知県四万十市にて撮影）

（No.153 2007.5. 14 掲載）